

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【公開番号】特開2014-108245(P2014-108245A)

【公開日】平成26年6月12日(2014.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2014-031

【出願番号】特願2012-263860(P2012-263860)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月14日(2016.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、
複数種類の図柄情報が変動表示される表示手段と、
前記抽選の結果に基づいて前記表示手段を表示制御して表示結果を導出表示させる表示
制御手段と、
前記抽選の結果が特定の結果である場合に、閉状態にある大入賞口を開状態にする特定
遊技状態に制御可能な特定遊技状態制御手段と、
前記大入賞口とは異なる特別受入口への入球の有無を判定する特別判定手段と、
演出を制御する演出制御手段と、を備え、
前記演出制御手段は、
前記表示結果の導出表示後に、遊技者への利益付与に先立つ第 1 演出を実行する第 1 演
出実行手段と、
前記第 1 演出の実行中に前記特別受入口への入球が有ると判定されると、当該第 1 演出
を、遊技者への利益付与が発生したことを示唆する第 2 演出へと変更する演出変更手段と
、を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

上記遊技機では、操作ボタンの操作に対する興味が失われると、折角遊技者の介入を可
能にするセンサや操作ボタンが設けられていても操作を敬遠されてしまい、遊技興趣の低
下を招くおそれがあった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は上記の実状に鑑み、遊技興趣の低下を抑止可能な遊技機を提供することを目的とする。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

(解 決 手 段 1)

所定の始動条件成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、

複数種類の図柄情報が変動表示される表示手段と、

前記抽選の結果に基づいて前記表示手段を表示制御して表示結果を導出表示させる表示制御手段と、

前記抽選の結果が特定の結果である場合に、閉状態にある大入賞口を開状態にする特定遊技状態に制御可能な特定遊技状態制御手段と、

前記大入賞口とは異なる特別受入口への入球の有無を判定する特別判定手段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記表示結果の導出表示後に、遊技者への利益付与に先立つ第1演出を実行する第1演出実行手段と、

前記第1演出の実行中に前記特別受入口への入球があると判定されると、当該第1演出を、遊技者への利益付与が発生したことを示唆する第2演出へと変更する演出変更手段と、を有することを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

このように、本発明によれば、遊技興趣の低下を抑止可能である。